

平成 26 年 6 月 12 日

地方銀行プレゼンツ―

「モノづくり企業ビジネスマッチングフェア」の開催ならびに 出展者募集について

西日本シティ銀行（頭取 久保田 勇夫）は、地方銀行 25 行（予定）合同で、標記商談会を開催しますのでお知らせいたします。

本商談会はモノづくりを営む地方銀行のお取引先に、サプライチェーン再構築、同業他社・異業種とのマッチングおよび新たな販路拡大機会獲得を支援することを目的に地方銀行 25 行と日刊工業新聞社が協働して企画したものです。

本商談会への出展者を、下記により募集しますので、あわせてお知らせいたします。

＜参加銀行＞北海道銀行、秋田銀行、七十七銀行、東邦銀行、群馬銀行、常陽銀行、武蔵野銀行、千葉銀行、第四銀行、山梨中央銀行、八十二銀行、北陸銀行、大垣共立銀行、三重銀行、滋賀銀行、京都銀行、南都銀行、紀陽銀行、山陰合同銀行、中国銀行、広島銀行、百十四銀行、伊予銀行、十八銀行、西日本シティ銀行

記

1. 開催概要

- （１）名 称：地方銀行プレゼンツ―モノづくり企業ビジネスマッチングフェア
- （２）開催目的：新市場開拓とサプライチェーンの再構築・地域経済の活性化及びグローバル連携の推進
- （３）開催日時：平成 27 年 2 月 5 日（木）・6 日（金）午前 10 時～午後 5 時
- （４）会 場：幕張メッセ（千葉県千葉市美浜区中瀬 2-1）
- （５）出展規模：400 小間（予定）
- （６）来 場 者：5,000 人（予定）
- （７）入 場 料：一般 1,000 円（事前登録のない製造業以外の業種来場者）
- （８）主 催：日刊工業新聞社
- （９）共 催：モノづくり企業ビジネスマッチングフェア実行委員会（参加行で構成）

2. 出展募集概要

- （１）出展分野：
 - ①一般展示：一般機器、精密機器、輸送機器、電気機器、情報通信、金属材料、電子材料、プラスチック、バイオ・環境、その他
 - （出展技術）製造加工技術、計測制御技術、試験評価技術、品質管理技術、高機能材料、代替材料、IT 技術、エネルギー技術、その他
 - ②テーマ展示：電気自動車（EV）
 - （出展技術）モーター、モーター関連部品、コントローラー、バッテリー、充電器、電路機材、補機類、計測機器、太陽電池、LED、その他 EV 関連機器）

- (2) 出展募集数：400 小間（予定）
- (3) 出展料金：1 小間／216,000 円（税込）
- (4) 募集期間：平成 26 年 6 月 13 日（金）～平成 26 年 9 月 30 日（火）
- (5) 申込方法：「出展申込書」に必要事項を記入のうえ、下記連絡先まで郵送または FAX にてお申し込みください。
- (6) そ の 他：出展小間仕様等詳細につきましては「出展者募集のご案内」「出展規定」をご参照ください。

3. 本商談会の特徴

(1) ニーズにあった商談会方式

「ネットとリアル」、「国内と海外」の 4 次元展開により時代に即した B to B マッチングを実践。

(2) 日本産業人クラブ連合会とモノづくり日本会議との連携

日刊工業新聞が運営するモノづくり日本会議や日本産業人クラブ連合会と連携することで大手企業、異業種とのマッチングを促進し、企業間・地域間・産業間の新たな連携をバックアップ。

(3) ビジネスマッチングの効率化を考えた画期的なシステム

出展社のニーズにあわせた出展エリアの設置と専用システムの活用により効率的なビジネスマッチングをサポート。

(出展エリア・出展対象企業)

①ネクストステージ（テーマ展示）※第 1 回テーマは「電気自動車（EV）」

日刊工業新聞社が注目する次世代産業への参入希望または自社製品や技術を売り込みたい企業

②ソリューションコーナー（一般展示）

大手・中堅・中小企業のニーズ&シーズに応えられるまたは一緒に技術製品の開発に取り組む意欲のある企業

③イノベーションコーナー（一般展示）

分野及び技術による出展で様々な企業にアピールを行い、異業種交流やビジネスの拡大を目指す企業

以 上

【本件に関するお問い合わせ先・申込書送付先】

西日本シティ銀行 法人ソリューション部 山中・磯
住所：〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 1 丁目 3 番 6 号
TEL：092-476-2747 FAX：092-476-2749



地方銀行プレゼンツ—

モノづくり企業 ビジネスマッチング フェア

出展者募集のご案内

2015年2/5[木]・6[金]

会場：幕張メッセ

時間：AM10:00-PM5:00

大手優良企業との商談を
プロデュースいたします！

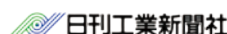
新規市場開拓！
サプライチェーンの
再構築のチャンス！

時代に即した
BtoB
マッチング

最高の出会いの場をプロデュース



北海道銀行



日刊工業新聞社



秋田銀行



西日本シティ銀行



七十七銀行



十八銀行



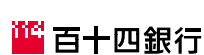
東邦銀行



伊予銀行



群馬銀行



百十四銀行



常陽銀行



広島銀行



武蔵野銀行



中国銀行



千葉銀行



山陰合同銀行



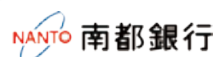
第一銀行



紀陽銀行



山梨中央銀行



南都銀行



八十二銀行



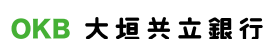
京都銀行



北陸銀行



滋賀銀行



OKB 大垣共立銀行



三重銀行

主催：日刊工業新聞 共催：モノづくり企業ビジネスマッチングフェア実行委員会

ごあいさつ

モノづくり中小企業は現在約 46 万社を数え、製造業全体の 99.6% に相当します。また従業者数は約 590 万人で、製造業全体の 62.2% を占めます。付加価値総額は 58 兆円で、製造業全体の 53.1% を占め、国内総生産 516 兆円の 11.2% に当たります。

例えば、自動車のパーツは大部分が中小企業によるもので、我が国産業発展の源泉であり、この影響力は世界中に波及していると言っても過言ではありません。その証拠に平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災は、未曾有の被害をもたらしましたが、産業界におきましても世界中の自動車メーカーに大打撃を与えました。

しかし近年、国際競争にさらされる中、雇用者数の減少、国内事業所の減少、海外への技術流出に加え、後継者問題が浮上してきました。これらの課題に対応するにはサプライチェーンの再構築と同業他社・異業種とのマッチング、そして新たな販路拡大が必要です。

日刊工業新聞社は長年にわたり「モノづくり」の総合紙として親しまれてきました（平成 27 年 11 月創刊 100 周年）が、併せて戦後すぐから製造業の展示会を日本国内及び海外にも展開して参りました。その実績から今回、サプライチェーンの再構築、同業他社・異業種、販路拡大のソリューションとして「地方銀行プレゼンツ - モノづくり企業ビジネスマッチングフェア（略称：M.B.M）」の開催を企画いたしました。

中央行政主導の展示会ではなく、各地方経済界、行政が一体となってお支援頂けるマッチングフェアとして地域経済の活性化の一助になればと考えております。

何卒よろしくお願いいたします。

日刊工業新聞社
モノづくり企業ビジネスマッチングフェア実行委員会

地方銀行プレゼンツ — モノづくり企業ビジネスマッチングフェア開催概要

名 称	地方銀行プレゼンツ — モノづくり企業ビジネスマッチングフェア	後 援 (予 定)	経済産業省、全国各都道府県、市町村
会 期	平成 27 年 2 月 5 日(木)・6 日(金)	協 賛 (予 定)	日本機械工業連合会、日本産業機械工業会、 日本プラント協会、日本プラントメンテナンス協会、 日本自動機器工業会、全日本機械工具商連合会、 日本繊維機械協会、日本真空工業会、日本真空協会、 日本ロジスティクスシステム協会、 立体駐車場工業会、日本 MH 協会、日本歯車工業会、 日本冷凍空調工業会、日本冷凍空調設備工業連合会、 日本自動販売機工業会、日本自動車機械器具工業会、 日本自動車機械工具協会、日本金型工業会、 日本包装機械工業会、日本ロボット工業会、 電子情報技術産業協会、日本電機工業会、 家電製品協会、日本電球工業会、 日本照明器具工業会、日本画像医療システム工業会、 日本電気計測器工業会、電池工業会、 電気機能材料工業会、 情報通信ネットワーク産業協会、 日本防災システム協会、日本情報処理開発協会、 新金属協会、日本電子回路工業会、 日本自動車工業会、日本自動車整備振興会連合会、 日本電動車両協会、日本自動車車体工業会、 日本自動車部品工業会、日本自動車部品協会、 日本オートケミカル工業会、全国自動車用品工業会、 日本造船工業会、日本航空宇宙工業会、 日本運搬車輛機器協会、日本計量機器工業連合会、 日本精密測定機器工業会、日本測量機器工業会、 日本医用機器工業会、 全日本プラスチック製品工業連合会
開催目的	新市場開拓とサプライチェーンの再構築、 地域経済の活性化及びグローバル連携の推進		
会 場	幕張メッセ		
開場時間	午前 10 時～午後 5 時		
出 展 料	1 小間 (間口 2.97m × 奥行 2.97m × 高さ 2.7m) = 216,000 円 (税込)		
出展規模	400 小間		
来場目標	5,000 人		
主 催	日刊工業新聞社		
共 催	モノづくり企業ビジネスマッチングフェア 実行委員会 (北海道銀行、秋田銀行、七十七銀行、 東邦銀行、群馬銀行、常陽銀行、武蔵野銀行、 千葉銀行、第四銀行、山梨中央銀行、八十二銀行、 北陸銀行、大垣共立銀行、三重銀行、 滋賀銀行、京都銀行、南都銀行、紀陽銀行、 山陰合同銀行、中国銀行、広島銀行、 百十四銀行、伊予銀行、十八銀行、 西日本シティ銀行)		

新聞社と銀行が結ぶ製造業の

安定した集客を考えた来場プロモーション

来場目標 **5,000人** 事前登録来場者 **4,600人** + 当日来場登録者 **400人**

当日の来場者については製造業以外の業種は入場料 1,000 円を徴収し、関係者の多い実りある商談会とします。

当日来場登録 **400人** (見込)

当日来場登録者 **400人**

日刊工業新聞をはじめ、新聞や雑誌、ネット等の広告を駆使した **1,000人** の事前登録 (見込)

事前登録者 **4,600人**

日刊工業新聞社等が保有するDMリスト **60万件**
海外企業 (協力機関: 米国大使館、ロシア大使館、英国大使館、インドネシア大使館、インド大使館、米国商工会議所、日本インドネシア友好協会、インド経団連他からの紹介企業) も含みます。

60 万件の **0.3% (1,800人)** の事前登録 (見込)

調達部門向けセミナー参加者 (**6,000人**) を対象に商談会の1ヶ月前まで会社訪問をし、3 週間まえから前日までコールセンターを利用した電話勧誘を行う予定です。

6,000 人の調達担当者のうち **10% (600人)** の事前登録 (見込)

出展者による取引先企業の事前登録者
出展予定企業 **400 社** がそれぞれ **10 件** ずつご紹介

4,000 社の取引先企業のうち **30% (1,200人)** の事前登録 (見込)

貴社のニーズにあった商談会

「地方銀行プレゼンツモノづくり企業ビジネスマッチングフェア」は平成 27 年に創業 100 周年を迎える「モノづくり」「技術」「中小企業」をキーワードにする産業専門紙「日刊工業新聞社」と全国の地方銀行が協力して行う「商談会」です。

商談会までに大手・中堅・中小企業のニーズを事前に把握することができ、確実な商談相手を見つけてから、当日参加できることが最大の特徴です。

モノづくり推進会議 (※1) や産業人クラブ (※2) を中心に製造業に特化した企業がエントリーされますので、貴社のニーズにあった商談相手や、将来の取引先・業務提携先をスムーズに探していただけるはずです。

また、自社の技術や製品をアピールすることで、グローバルに展開する企業や業界が違う企業から商談の申し込みがあり、異業種交流による新たなビジネス展開に期待が膨らむと思います。

モノづくり日本会議 — (※1) モノづくり推進会議

広域企業ネットワークや多彩な他機関との連携を活用し、わが国モノづくり産業の強化に役立。実践的な活動を展開しています。

双方の情報交流できる企業ネットワークを構築し、企業間、地域間、産業間の新たな連携を促進します。そのネットワークが触媒となり、新産業・新ビジネスを創出できる体制を目指します。

モノづくり日本会議の活動は、勉強会やシンポジウムなどの事業で得られた知見などを取りまとめ、政府への提言なども進めていきます。

(※2) 日本産業人クラブ連合会

産業人クラブは、地域産業の結束を通じて、モノづくりを中心としたわが国の産業の発展に寄与することを目的に設立された異業種交流組織で、日刊工業新聞社の支社、支局が事務局を務めています。産学官交流の草分けとして、昭和 39 年 4 月 2 日に栃木県で前身の「栃木工業人クラブ」として産声をあげました。続く 4 月 3 日には「埼玉工業人クラブ」が誕生し、その後、千葉、群馬、茨城など関東各地にクラブが設立、さらには高度経済成長とともに全国各地にクラブが設立されました。現在は、東京、大阪など全国に 24 組織 (平成 22 年 11 月 1 日現在) のネットワークを持ち、1700 人の会員が参加する全国組織に成長しました。会員メンバーは主に中堅・中小企業の経営者、経営層で構成され、相互の親睦と経営者としての資質向上、そして事業の拡大を支援する活動を行っています。産業人クラブの特徴は、日刊工業新聞社が活動を全面支援していることです。日刊工業新聞社の全国取材網を通じて新聞記者が会員企業を取材し、そこで得た会員の情報を新聞紙面やインターネットを媒体に幅広く発信します。

全国の産業人クラブ

- 宮城産業人クラブ
- 福島産業人クラブ
- いわき産業人クラブ
- 山形産業人クラブ
- 新潟産業人クラブ
- 茨城産業人クラブ
- 群馬産業人クラブ
- 栃木産業人クラブ
- 埼玉産業人クラブ
- 東京産業人クラブ
- 神奈川産業人クラブ
- 千葉産業人クラブ
- 掛川産業人クラブ
- 東京産学交流会 (東京産業人クラブ支部)
- 城北産業人クラブ (東京産業人クラブ支部)
- 東京東京マネジメント研究会 (東京産業人クラブ支部)
- 東京産業人クラブ女性部会 (東京産業人クラブ支部)
- TDU 産学交流会 (埼玉産業人クラブ)
- NITEC 埼玉産学交流会 (埼玉産業人クラブ)
- 多摩産業人クラブ (東京産業人クラブ支部)
- 長野産業人クラブ
- 岐阜産業人クラブ
- 滋賀産業人クラブ
- 名古屋産業人クラブ
- 大阪産業人クラブ
- 中国四国産業人クラブ
- 九州・山口産業人クラブ
- 九州・山口産業人クラブ 北九州支部
- 大分産業人クラブ

◆「ネットとリアル」そして「国内と海外」の 4 次元展開により時代に即した BtoB マッチング

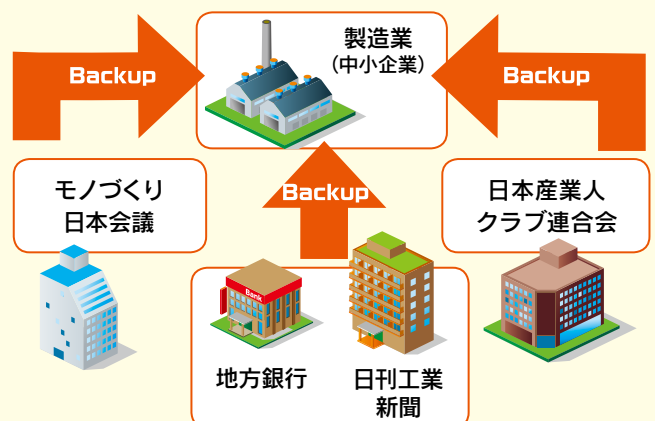
現在の BtoB 環境に即した「ビジネスマッチングサイト」+「トレードショー」による立体的展開。本展をゲートウェイとして、海外展示会出展や海外バイヤーの誘致を行うプラットフォームづくり。

意欲ある有力な中小企業の出展により、質の高いバイヤー層の集客を実現。

◆日刊工業新聞に紙面掲載と日本産業人クラブ連合会とモノづくり日本会議との連携

日刊工業新聞紙上で展示会開催前の見どころ及び開催中の様子を掲載。日刊工業新聞が運営するモノづくり日本会議や日本産業人クラブ連合会と連携することで大手企業、異業種とのマッチングを促進。

企業間、地域間、産業間の新たな連携をバックアップします。



ビジネスマッチングの強み！

ビジネスマッチングの効率化を考えた 画期的なシステム こんな企業を求めています！

※出展者は①～③の希望のゾーンに参加出来ます。

①ネクストステージ

テーマ展示ゾーン

① 日刊工業新聞社が注目する次世代産業に参入を希望するまたは自社の製品や技術売り込みたいと情熱を燃やす企業 / 第1回目 テーマ「電気自動車 (EV)」

日本国内ではまだまだ普及が進んでいない現状ですが、欧米ではすでにEVがトレンドとなりつつあり、日本でも外国資本の自動車会社を中心にEVの販売が加速される見込みです。このため外国資本の自動車会社を中心に集客を行います。

募集項目

モーター、モーター関連部品、コントローラー、バッテリー、充電器、電路機材、補機類、計測機器、太陽電池、LED、その他EV関連機器

事務局

募集項目の提示

電気自動車に関連する技術や製品

出展者 中小企業

②ソリューションコーナー

② 大手・中堅・中小企業のニーズ&シーズ一覧を見ていただき、応えられるまたは一緒に技術・製品の開発に取り組みたいと意欲がある企業

こんな製品を希望する、こんな技術を希望する等、様々なニーズを日刊工業新聞社が全国のバイヤーや調達担当からヒアリングをします。自社の技術・製品で解決できる、またはうちの企業とぜひ一緒に課題を解決したいと思われる企業は出展をご検討ください。

ニーズを出した企業

ニーズ & シーズの提供

WEB上で会社概要と提案品を掲示

商談申込み

事務局

商談申込み

出展者 中小企業

OKの場合：マッチング日時連絡

NGの場合：理由を伝える

回答日時連絡

③イノベーションコーナー

③ 分野及び技術による出展でさまざまな企業にアピールし、異業種交流、ビジネスの拡大を目指す企業

技術や製品に自信はあるが、どんな業界や業種に売り込めばいいかわからない企業は分野や技術別による出展がおすすめです。本商談会は終了後もweb上に分野や技術別に掲載を続けます。(平成27年5月までを予定) 商談会はあくまでも「きっかけ」であり、ゴールではないと思いますので、新たなビジネスチャンスにつながることを期待しています。

事前登録した企業

双方向会社概要と提案品掲示

商談申込み

事務局

商談申込み

出展者 中小企業

回答日時連絡

出展分野 一般機器、精密機器、輸送機器、電気機器、情報通信、金属材料、電子材料、プラスチック、バイオ・環境、その他

出展技術 製造加工技術、計測制御技術、試験評価技術、品質管理技術、高機能材料、代替材料、IT技術、エネルギー技術、その他

会場構成

一般展示ゾーン

②ソリューションコーナー

③イノベーションコーナー

テーマ展示ゾーン

①
ネクスト
ステージ

マッチングゾーン

②
ソリューション
ネクストステージ
コーナー
マッチングゾーン

① ③
イノベーション
フリー
マッチングゾーン

マッチング方法について

- ①専用のホームページを通した、事前予約型マッチング
※出展者ニーズ & シーズを出した大手企業、またはニーズを出していないが事前登録をした企業によるマッチング。
- ②出展者とニーズ & シーズを出した企業による
ブース訪問マッチング及び会場内提案マッチング
※事前登録を行い、ニーズ & シーズを出した企業については商談会場に専用のデスクを設け、出展者のみが提案営業ができるようにします。
- ③出展者と出展者のマッチング、事前予約は成立しなかったが、当日出会った出展者と事前登録来場者によるマッチング

Schedule

商談会当日までのスケジュール（予定）

2014
6 月

6/13(金)

出展申し込み受付開始

出展申込書に必要事項をご記入いただき、銀行にお申し込み下さい。

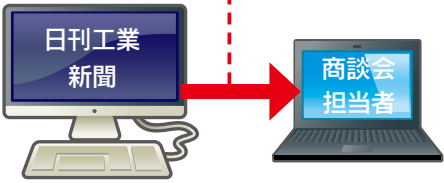
申し込み受付後

専用ホームページの ID・PW (パスワード) を連絡

専用ホームページの ID・PW を日刊工業新聞よりご担当者様へ直接メールでご連絡いたします。

ID・PW (パスワード)

商談会ご担当者さまは、インターネットへの接続環境とメールアドレスをご用意ください。



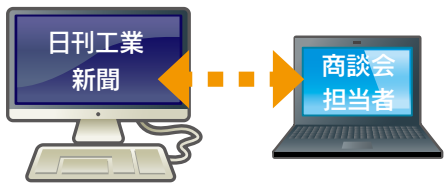
「出展者」「来場者」双方のリストの配信
ご面談リクエストの開始

「出展者」・「来場者」双方をまとめた「参加者リスト」を WEB 上に掲載。その中から、当日面談を希望される企業様を選んでいただけます。（専用の ID・PW でのみ閲覧可能）



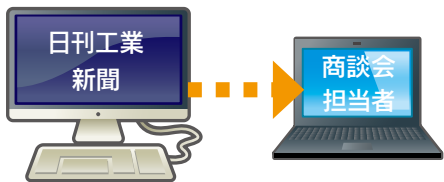
貴社への面談アプローチの通知・
貴社面談可否のご回答

各社ごとにアプローチのあった企業名をお知らせし、その中で、当日実際に面談を希望される企業を選んでいただけます。



面談スケジュールの配信

その結果、成立した当日のご面談のスケジュール（面談相手企業、日時、場所）をお知らせします。



9 月

締切
9/30(火)

10 月

10 月下旬

11 月

11 月上旬～
12 月下旬

12 月

2015
1 月

1 月上旬

2 月

2 月 5 日(木)・6 日(金)

地方銀行プレゼンツ

モノづくり企業ビジネスマッチングフェア開催

商談会当日

展示会開催までのスケジュール（予定）

出展申し込み受付
開始

6/13 (金)

出展申し込み締切り

9/30(火)

出展料支払い期限

10/31(金)

出展者説明会
開催場所：幕張メッセ

11 月上旬

各種届出期限

1 月上旬

搬入日

2/4 (水)

会 期

2/5(木)・6(金)

搬出・撤去

2/6(金) 17:00 ～



■出展申込期限：平成26年9月30日(火)
※必ず控えのコピーをとり、保管して下さい。

事務局 宛 出展規定を了承し、下記の通り申し込みます。

1. 希望分野・技術 (出展分野・出展技術それぞれ1項目ずつチェックをお願いします。)

出 展 分 野	☐ 一般機器 ☐ 精密機器 ☐ 輸送機器 ☐ 電気機器 ☐ 情報通信 ☐ 金属材料 ☐ 電子材料 ☐ プラスチック ☐ バイオ・環境 ☐ その他	出 展 技 術	☐ 製造加工技術 ☐ 計測制御技術 ☐ 試験評価技術 ☐ 品質管理技術 ☐ 高機能材料利用技術 ☐ 代替材料利用技術 ☐ IT技術 ☐ エネルギー技術 ☐ その他
	に、出展します。		に、出展します。

☐一般展示ゾーン ☐テーマ展示ゾーン

(ネクストステージにご出展を希望される出展者のみご記入ください。ネクストステージについては「出展者募集のご案内」をご参照ください。)

☐モーター ☐モーター関連部品 ☐コントローラー ☐バッテリー ☐充電器 ☐電路機材 ☐補機類 ☐計測機器
☐太陽電池 ☐LED ☐その他EV関連機器

に、出展します。

平成 26 年 月 日

会社名／団体名		和文	フリガナ		代表 T E L	() —
		英文				
本 社 所 在 地		〒 —				
出 展 責 任 者		部署・役職名			氏名	フリガナ -----
出 展 担 当 者	所 在 地	〒 —			TEL	— —
					FAX	— —
	担 当 者	部署・役職名			氏名	フリガナ -----
	U R L (ホームページアドレス)	http://				
	E - m a i l (メールアドレス)	※ご担当者様のメールアドレスをご記入ください。				
請 求 書 送 付 先	請求書宛名名					
	所 在 地	〒 —			TEL	— —
					FAX	— —
担 当 者	部署・役職名			氏名	フリガナ -----	

また社数 2 社以上の場合は任意の用紙を添付願います。)

会社名／団体名 (和 文)		フリガナ -----	会社名／団体名 (英 文)		
出 展 担 当	所在地	〒 -		TEL	— —
				FAX	— —
	担当者	部署・役職名		氏名	フリガナ -----

ご登録いただいた情報は、展示会事務局が細心の注意を払って管理致します。
この情報をもとに日刊工業新聞社及び関連会社から展示会・セミナー情報などを
DM や e-mail にて皆様にお届けする場合があります。

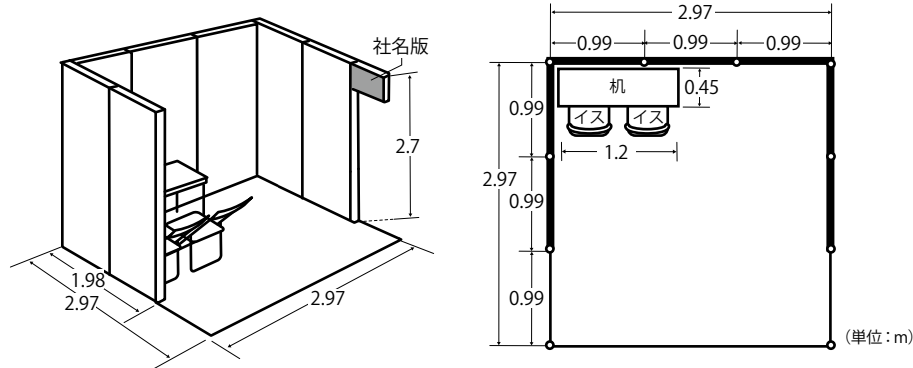
DM や e-mail が不要の場合は ☐ にチェックを付けてください。 ☐ 不要

銀行	支店（部署）
----	--------

1 小間（間口 2.97× 奥行 2.97m）料金		申込小間数	小間料合計	支払い予定日
☐ 通常出展 ¥ 216,000 （消費税込）		小間	¥	月 日 お振り込み先：三菱東京 UFJ 銀行 柴町支店 普通 247021 口座名義：(株) 日刊工業新聞社 名古屋支社
☐ 日刊工業新聞購読者 消費税相当額を値引き ¥ 199,800 （消費税込）		小間	¥	
☐ 日刊工業新聞新規購読申し込み者 ※1 年間契約を条件とします 消費税相当額を値引き ¥ 199,800 （消費税込）		小間	¥	
出展料のお支払いについて		出展申込書の受付確認後、請求書を発行しますので、平成 26 年 10 月 31 日（金）までに上記振り込み先までお振り込み下さい。		

(○で囲んでください。)(右図は1小間の場合)

希望小間形態	横 列 小 間
	背 抜 き 小 間 （ 4 小 間 ～ ）
	島 小 間 （ 6 小 間 ～ ） タテ（ ）小間×ヨコ（ ）小間



公式ホームページに記載しますので、50文字以内でご記入下さい。

また、公式ホームページとのリンクを希望される場合は、リンク先をご記入下さい。

[illegible]

の り し ろ	
	日刊工業新聞を購読されている方は期間内(平成 26 年 6 月～10 月)の 領収書(コピー可)を貼付けて下さい。 クレジットカード払いの場合は、配達担当新聞店名をご記入下さい。 新規購読者も同上の条件でお願いします。(※1 年契約が条件) 店名 TEL

事務局記載欄

モノづくり企業ビジネスマッチングフェア事務局 (日刊工業新聞社 名古屋支社 イベント G 内) 〒461-0001 名古屋市東区泉 2 丁目 21-28 TEL052-931-6158 FAX052-931-6159	受付日	銀行名: 担当者	No.
	月 日		

★申し込み後に日刊工業新聞社よりIDとPW（パスワード）をお送りしますのでホームページ（http://www.MBM-NIKKAN.jp）よりログインし、下記の入力例を参考にください。

Web 入力表示例

展示技術・製品名をください。

貴社名をください。

出展希望ゾーン名をください。

出展 NO.	展示技術・製品名					出展ゾーン・技術
●12	○○○○○○○○○○○○○○○○○○製品					○○○
会社名	株式会社○○○○○○○○○○○○○○○					該当項目をチェックして数値割合があれば ください。
本提案の狙い	項目	☐ 納 期	☒ コスト	☐ 質 量	☐ 環 境	
	数値割合		加工費 20%削減●			
技術・製品内容						
従来構造／材料／工法等			新構造／材料／工法等			
従来構造 / 材料 / 工法などの特徴を ください。			新構造 / 材料 / 工法などの特徴を ください。			
従来製品の特徴 ●材質が限られるため強度の面で不安があった。			新製品の特徴 プレスすることで材質を多様化でき、強度不足を解消			
該当項目をチェックしてください。			技術課題と対応方法を ください。			
開発進度段階			技術課題と対応方法			パテント有無
☐ アイデア			鑄造にはつきものの鑄巣の発生● ↓ 事前の鑄造解析と試鑄後の方案により、鑄巣の発生を抑えている。			●無
☐ 実験・試作						
☐ 開発完了						
☒ 製品化完了			パテント有無を ください。			

株式会社 ×××××

http://www.××××××××××

認証取得：×××（例：ISO など）

主要取引先：××××××××××（株）

主要製品：××××××××・××××××××××

主要設備：××××・××××・××××・××××

従業員数：□□□人、□□□人、□□□人

海外生産拠点国：××××××××××

地域と生産品目：××××××××××

貴社情報をごください。

詳細主要設備・経営方針・自己 PR など

プレス業界という広い世界に対して、縮小することなく常に一步先を行く提案力で日本の製品として生み出して行く！

詳細主要設備や貴社の自己 PR などをごください

出 展 規 定

- 1 小間位置の決定、小間譲渡等の禁止

1. 小間位置については出展物の内容・形状・申込順位・小間数・会場構成等を総合的に勘案し、事務局で決定いたします。小間位置は出展者説明会（平成 26 年 11 月上旬）にて出展者に発表します。
2. 割り当てられた小間の一部または全部を事務局の承諾なしに譲渡、または貸与することはできません。また、転貸、担保に供することを禁止します。
- 2 支払い日と支払い方法

出展申込書の内容を確認後、請求書を送付いたしますので、平成 26 年 10 月 31 日（金）までに必ずお支払いください。
出展申込書に「支払い予定日」を明記して下さい。振込の場合には下記の銀行にお願いします。
お振り込み先：三菱東京 UFJ 銀行 栄町支店 普通 247021
口座名義 / （株）日刊工業新聞社 名古屋支社

また、出展者説明会当日以降より、会期の 1 ヶ月前（平成 27 年 1 月 5 日）までに自社からのマッチングアプローチが 1 件も承諾されなかった、又は他社からのマッチングアプローチを 1 件も承諾しなかった場合、出展者が日刊工業新聞社に文書にて届け出ること、商談不成立キャンセルを認め、出展の取りやめ（出展小間については会期中は閉鎖または休憩コーナーとして利用）と出展料の返金を致します。
- 3 出展契約の変更または取り消し

すでに申し込まれた小間に対する変更または取り消しは、全て文書にてその理由を明記し、事務局の承認を得て下さい。
※出展を取り消された場合、下記の通りキャンセル料を申し受けます。
●申込書締切から出展者説明会前日まで……………出展料の 50%
●出展者説明会当日以降……………出展料の 100%
- 4 出展物の管理保全

1. 事務局は管理者として注意を持って会場全般の管理にあたります。
ただし、各出展物の管理は出展者が自己の責任と費用にて行って下さい。
2. 事務局は出展物の盗難・紛失・損傷・火災・その他天変地異を原因とする出展物の損害に対しての一切の補償責任を負いません。従って出展者は出展物に保険を付すなどの措置をとるように配慮して下さい。
- 5 危険物等の持ち込み

1. 引火性・爆発性の危険物の持ち込みを禁止します。また、その他消防法に定められる危険物・裸火を使用する物については所轄消防署の承諾を受けた物以外は持ち込みを禁止します（危険物の持ち込みの解除条件等については出展者説明会にてご説明いたします。）
2. 主催者の承諾を得られなかったもの、関連法令に抵触するおそれがあるもの、および公序良俗に反する物の持ち込みを禁止します。
- 6 実演上の注意・事故防止

1. 出展者の実演は自由ですが、はなはだしい音響・発煙・発光・臭気を伴うもの、または危険を伴う実演は中止を願うことがあります。
2. 実演によって生じた生ゴミ・展示廃棄物は出展者が処理して下さい。会場内に廃棄しないようにお願いします。
3. 出展者は搬入出、展示、実演にあたり最善の注意を払い事故防止に努めて下さい。また、出展者は万全の処置を講じ、責任者の常駐をお願いします。主催者自らの責めに帰すべき場合を除き、発生した事故につき一切の責任を負いません。
- 7 原状回復

1. 出展者は、本展示会の会期終了後、所定の搬出期間を経て出展小間を現状に回復しなければなりません。ただし、出展者が原状回復工事を行わない場合は、主催者において同工事を行い、その費用は出展者が負担するものとします。
2. 出展者が出展小間の明け渡し後、出展者の残物がある場合、主催者により当該の出展者へ連絡した後、残物を処分できることとします。また、その処分にかかる費用については、出展者が負担するものとします。
- 8 各種工事の諸経費の負担

1. 小間内照明および実演に要する電気料ならびに配線工事は出展者の負担となります。
2. 電気使用申込、使用料金規定などの詳細については出展者説明会（平成 26 年 11 月上旬）にて出展者に通知いたします。
3. 小間内に給排水・エア・ガス・臨時電話が必要な出展者は出展者説明会後に Web 上でお申し込み下さい。
4. 実演等に使用する給排水・エア・ガス・臨時電話料金は出展者の負担となります。
- 9 立ち入り点検

1. 主催者および展示会の警備・防災担当協力は、防火、防災対応のため必要と認められた際は、出展者の了解の上、小間内を点検することができます。
2. 搬入時、および会期中、主催者は防火・防災担当の管轄の行政指導により小間内を点検いたします。出展者が点検時に行政指導を受けた場合は、速やかにその指導に従うこととします。
- 10 展示会開催の延期・中止について

1. 主催者は天災などの不可抗力により、展示会開催が困難と判断した場合、展示会の開催を延期または中止することがあります。また、その際に生じた損害について主催者は責任を負わないものとします。
2. 主催者は当初予定の目的（開催規模、来場動員目標等）を達成できないと判断した場合、展示会を中止することが出来るものとします。また、その際生じた損害について主催者は責任を負わないものとします。

共催銀行			
■北海道銀行 営業推進部 〒060-8676 北海道札幌市中央区大通西 4 丁目 1 TEL 011-233-1163 FAX 011-231-5009 http://www.hokkaidobank.co.jp/	■秋田銀行 営業本部 地域サポート部 〒010-8655 秋田県秋田市山王 3 丁目 2-1 TEL 018-863-1212 FAX 018-866-3819 http://www.akita-bank.co.jp/	■七十七銀行 地域開発部 地域開発課 〒980-8777 宮城県仙台市青葉区中央 3 丁目 3-20 TEL 022-211-9723 FAX 022-267-5303 http://www.77bank.co.jp/	■東邦銀行 法人営業部 公務・地域振興室 〒960-8633 福島県福島市大町 3-25 TEL 024-523-0972 FAX 024-523-1482 http://www.tohobank.co.jp/
■常陽銀行 地域協創部 〒310-0021 茨城県水戸市南町 2 丁目 5-5 TEL 029-300-2792 FAX 029-300-2668 http://www.joyobank.co.jp/	■武蔵野銀行 地域サポート部 コンサルティンググループ 〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1 丁目 10-8 TEL 048-641-6111 FAX 048-641-6690 http://www.musashinobank.co.jp/	■千葉銀行 法人営業部 成長ビジネスサポート室 〒260-8720 千葉県千葉市中央区千葉港 1-2 TEL 043-301-8409 FAX 043-248-0537 http://www.chibabank.co.jp/	■第四銀行 営業統括部 ニュービジネス企画室 〒951-8066 新潟県新潟市中央区東堀前通七番町 1071-1 TEL 025-229-8180 FAX 025-222-4363 http://www.daishi-bank.co.jp/
■八十二銀行 法人部 コンサルティング営業グループ 〒380-8682 長野県長野市大字中御所字岡田 178-8 TEL 026-224-6430 FAX 026-227-8162 http://www.82bank.co.jp/	■北陸銀行 法人・公共営業部 情報戦略グループ 〒930-8637 富山県富山市堤町通り 1 丁目 2-26 TEL 076-423-7111 FAX 076-424-9349 http://www.hokugin.co.jp/	■大垣共立銀行 支店部 情報渉外課 〒503-0887 岐阜県大垣市郭町 3 丁目 98 TEL 0584-74-2195 FAX 0584-82-2083 http://www.okb.co.jp/	■三重銀行 営業推進部 〒510-0087 三重県四日市市西新地 7-8 TEL 059-354-7120 FAX 059-353-2916 http://www.miebank.co.jp/
■京都銀行 営業支援部 地域密着型金融推進室 〒600-8652 京都府京都市下京区烏丸通松原上る薬師前町 700 TEL 075-361-2293 FAX 075-341-5984 http://www.kyotobank.co.jp/	■南都銀行 バリュー開発部 支援・渉外グループ 〒630-8677 奈良県奈良市橋本町 16 TEL 0742-27-1558 FAX 0742-27-8815 http://www.nantobank.co.jp/	■紀陽銀行 地域振興部 ビジネス営業室 〒590-0952 大阪府堺市堺区市之町東 1 丁目 1-10 TEL 072-221-1263 FAX 072-221-1810 http://www.kiyobank.co.jp/	■山陰合同銀行 地域振興部 事業支援グループ 〒690-0062 島根県松江市魚町 10 TEL 0852-55-1812 FAX 0852-28-0495 http://www.gogin.co.jp
■広島銀行 法人営業部 金融サービス室 〒730-0031 広島県広島市中区紙屋町 1 丁目 3-8 TEL 082-504-5089 FAX 082-241-2331 http://www.hirogin.co.jp/	■百十四銀行 営業統括部 地域コンサルティンググループ 〒760-8574 香川県高松市亀井町 5-1 TEL 087-836-2985 FAX 087-836-3697 http://www.114bank.co.jp/	■伊予銀行 ソリューション営業部 〒790-8514 愛媛県松山市南堀端町 1-11 TEL 089-941-1141 FAX 089-946-9110 http://www.iyobank.co.jp/	■十八銀行 ソリューション推進部 ビジネスサポートグループ 〒850-8618 長崎県長崎市銅座町 1-11 TEL 095-827-8556 FAX 095-826-9318 http://www.18bank.co.jp/
			■群馬銀行 法人部 コンサルティング室 〒371-8611 群馬県前橋市元総社町 194 TEL 027-254-7141 FAX 027-252-1250 http://www.gunmabank.co.jp/
			■山梨中央銀行 営業統括部 法人推進室 〒400-8601 山梨県甲府市丸の内 1 丁目 20-8 TEL 055-224-1091 FAX 055-232-5562 http://www.yamanashibank.co.jp/
			■滋賀銀行 営業統括部 法人推進グループ 〒520-8686 滋賀県大津市浜町 1-38 TEL 077-521-2852 FAX 077-521-2867 http://www.shigagin.com/
			■中国銀行 営業統括部 地域開発チーム 〒700-8628 岡山県岡山市北区丸の内 1 丁目 15-20 TEL 086-223-3111 FAX 086-232-0155 http://www.chugin.co.jp/
			■西日本シティ銀行 法人ソリューション部 コーポレートアドバイザーグループ 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 1 丁目 3-6 TEL 092-476-2747 FAX 092-476-2749 http://www.ncbank.co.jp/